

山下裕子教授 最終講義 3 / 14 (土) 15:00~

死屍累々

——問いを編み直す：市場プロセスの解明から制度デザインへ——

会場：一橋大学
国立キャンパス
21番教室
17:30~懇親会 @ マーキュリーホール

無形の「意味」を起点に、市場を立ち上げる営みとしてマーケティングを捉えたい。いま振り返ると、それは私の研究教育人生の底流にあった課題でした。マーケティングは、多様な理論的系譜をもつ学問です。経済学・社会学・心理学などから概念を借用しながら発達し、近年はさらに多領域との複合によって、幹の定まらないリゾーム状の成長を見せています。一橋大学で初めてマーケティングが講義されたのは1979年でした（それ以前は「配給論」と呼んでいました）。1981年に学部へ入学した私は「新しい学問」に心を躍らせ、その根をつかまえようと模索を始めました。その後も、問いの在り処を追って、さまざまな領域へ越境してきました。

その結果として残ったのは、未完の研究の断片——死屍累々です。多くの皆さんが色々な場面で応援し見守って下さったのに、残せたものが死屍累々だったとは！最終講義では、最後に皆さんの胸をお借りして、屍を葬るに甘んじず、息を吹き込んでみたいと思います。断片群を仕分けし、集積し、再構成しながら、私が何を明らかにしようとしてきたのかを再設計します。市場プロセスの解明を、次の段階——市場を成り立たせる条件や接続のデザインへと橋渡しする試みです。

参加希望の方は右記のメールアドレスまでご連絡ください。



山下裕子教授最終講義運営委員会 saishukougi2026@gmail.com